

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころや市民の皆さんの活動の様子、まちで見かけたほっとな話題を紹介しします。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室（☎65-6504）までお知らせください。市公式Facebookページではさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゅーす」



▲大会長としてあいさつに立つ小林さん

10月17日(木) 心身ともにかくしゃくと

すっきりとした秋晴れの下「第20回浅井長政旗親善ゲートボール大会」が開催され、県内各地からおおよそ450人が参加、チームメイトと声を掛け合い、日ごろの練習の成果を発揮しました。

この日大会長を務めた滋賀県ゲートボール連盟会長の小林剛さんは、「ゲートボールは技術と頭脳ともに要求される奥深いスポーツ。今は競技者育成のサポートも手厚いので、ぜひたくさんの人に仲間入りしてほしい」と話していました。

10月19日(土)・20日(日) いろんな図書館のぞいてみよう！

深まりゆく秋にピッタリなイベント「図書館のつどい」が、市内6図書館で開催されました。

これは市民ボランティアと職員からなる実行委員会が毎年開催しているもので、今回は「図書館文化祭」をテーマに、かるた大会、スペシャルおはなし会など、さまざまな催しが行われました。

実行委員会のリーダー松田崇義さんは「たくさんの方が参加してくれて大忙しですが、とても嬉しいです」とやりがいを話しました。



10月26日(土)～11月4日(月・振休) 芸術で暮らしを豊かに

余呉地域全体を美術館に見立て、多様な芸術との出会いの場とする「余呉まるごと里山芸術村2013」が10日間にわたって開催されました。

会期中は、地域の人たちによって修復された旧余呉小学校を中心に、古民家助右工門や全長寺など9つの会場で様々な芸術作品が展示されたほか、休日にはコンサートや舞台芸術、ワークショップなどが開かれ、訪れた人たちは芸術の秋をじっくりと味わっていました。

10月29日(火) 多文化共生について考える

南米日系人を中心とする外国人が多数居住する27の自治体で構成される「外国人集住都市会議」。設立から13年目となる今年が長浜での開催となり、全国から400人余りが参加しました。

当日は基調講演が行われたほか、防災や教育、雇用と日本語習得についての分科会で活発な意見が交わされました。

座長を務めた藤井市長は閉会式で「国や関係機関と連携し、多文化共生の構築のため邁進する」と「ながはま2013メッセージ」を読み上げました。



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを包含した植物油インキと環境に配慮した再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としていますが、市民交流センターや図書館、公民館など市の公共施設にも置いています。市のホームページでもご覧いただけます。点字広報、声の広報を作成していますので、ご希望の方は市民広報室まで。